

社長のひと言

こんにちは。株式会社手造り屋 社長の岩崎勉です。

毎日のお豆腐は、どんな薬にも勝るもの。

そのままよし、煮てもよし、焼いてもよし。本物の食は、すぐここにありました。

「豆腐工場直販店 手づくりやさん」のお豆腐づくりと生体エネルギー

生体エネルギーは、「宇宙に存在するエネルギーの新しい概念から生まれた呼び名です」

この宇宙に形がないものから形があるものが生まれる過程では、形が無い複数の物が集合してひとつの物になります。

そして、ひとつの新しいものが誕生します。

その際に、生体エネルギーは、①その成り立つプロセスを司り、②そのプロセスを行い、③そして誕生したものを支える力となります。

それゆえ、人間や、土、石、種、樹木など全てものには生体エネルギーが内在していると言われます。

和身添える
大豆人生訓
わみそえ



- 1、使用する水を豆腐づくり用に高める
- 2、使用する電気を豆腐づくりに高める
- 3、お店の地力（ちりよく）を高める

そこで、いま生存しているわたし達にとっての、
生体エネルギーとは、

「生きた体を支えるためのエネルギー」と言えます。

農業においては、植物は、自分の細胞を形づくる物質のひとつのカルシウムが土壤にあっても、それを吸収し、使いこなすことが出来ない現象があるようで、その結果細胞は壊れていきます。

こうした時は生体エネルギーを高めてやると解消すると聞きますので、摂取した栄養を、使いこなせる状態にするためには、体内の生体エネルギーが重要な原動力となると言えます。

生体エネルギーは「力・量・位」を内在し、「位」は「準拠位置」を意味します。

これらはその物体に影響します。

弊社、手づくりやさんは、豆腐造りの製造過程から直販店の売り場までその準拠位置を高めて、豆腐の生体エネルギーを少しでも高めて、豆腐の生体エネルギーを少しでも高め、その豆腐を食して頂くという、食に対する新しいかたちのサービスも念頭にしています。

「生体エネルギー（仮称）理論」は提唱者の佐藤政二先生によって農業の現場から生まれ、実践されている理論です。素粒子・クォークの次の、未発見の究極の量子を仮に「素子」と名づけられました。

その量子誕生の源を「想造」と位置づけ、想造から素子、クォークに至る過程に仮説を立て、「想像量子宇宙論」とされたと聞きます。

この推論式論法の過程で、これまで発見されていないが、無くてはならない特質の存在を想定なされ、それを生体エネルギーと呼称し、その後この自説に基づき実験・実践を繰り返しています。

仮説とはいえ、次々に常識を覆す革新的な技術がこの理論から生まれ、実用され農作物や家畜飼育という「いのち」を克服した体験に裏づけされたものです。

現在は、農作物の健康をはじめ環境蘇生面からも注目されています。